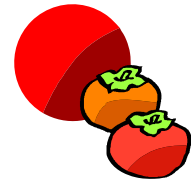


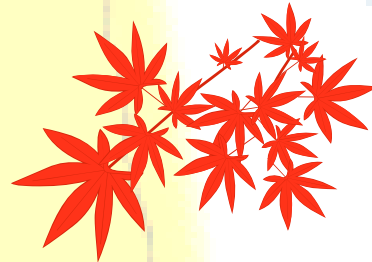
後援会だより



No. 3 バザー報告号
一宮聖光幼稚園後援会
2007年11月28日発行

後援会会長☆渡辺智子

バザーが、皆様のご協力のお陰で無事にできました事
心から感謝申し上げます。
話し合いを十分にとり 無理のない範囲でと進めてい
った中で 色々と皆様のご好意にとても感謝しています。バ
ザーを開催するのは、1日だけの行事ですが、それまで
の皆様の目には、見えない労力 時間 または、目に見
える労力 時間を頂いて成り立っていると思うと たくさん
の素晴らしい思いのこもったバザーだと感じました そし
て本当に沢山の事を学ばさせて頂きました。お手伝い頂い
た保護者の皆様 先生 役員の皆様 教会の方達に心
から感謝申し上げます ありがとうございました



♪手芸班



”皆様のご協力で大成功！！ありがとうございました。”

不慣れな企画・運営に当初は不安でいっぱいでしたが、今年度の役員さんは
もちろん、昨年までの役員経験者の方々や 手芸が得意な皆さんに、材料調
達の情報から製作へのアドバイス等、全面的にお手伝いいただき、製作会
そして当日も無事に終わることができました。改めて感謝の気持ちでいっ
ぱいです。合同製作会で覚えたことを、持ち帰ってご自宅で、又はお友達と一
緒に製作して下さった方も多数いらっしゃいました。バザーをきっかけに学年
を越えて交流が広がったことにもとても嬉しく思います。素人の初めて作った
作品達(特に布草履・・・)完璧ではないけれど 皆さんの暖かい気持ちのいっ
ぱい詰まった作品を購入して下さった方々にも感謝致します。
また、個人献品の方もたくさんの作品を献品して頂きまして、
ありがとうございました。そして何より、皆様のご協力のお陰で
私たち手芸班自身、楽しい数ヶ月を過ごすことができましたこ
と、御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

副園長☆伊藤幸雄



今年も聖光バザーが終わり、ホツとしています。バザー当日は
もとより、準備の段階から役員さん始め大勢の保護者や教会信徒、
地域の皆様のご協力をいただき、本当に感謝しています。いったい
何のためにバザーをやるのかということを考えてみますと、チャリ
ティー＝他者のために、ということ忘れてはならないと思います。
助けを必要としている人々に目を向ける、手を差し伸べることは、すなわちわたし
(イエス・キリスト)にしたことになるとイエスさまは言うておられます。さらには最も
弱い立場に置かれた人々が大切にされる社会こそ、すべての人が大切にされる
社会、安心して生きることのできる社会であります。次世代を担っていく子どもた
ちが、是非このことを親御さんが一生懸命やっている姿から感じ取ってほしい。
自分だけの目先の損得を超えた向こうに広がる、恵みに満ちた人生を歩んでい
って欲しいと願います。

ただ現実の問題として、バザー運営の負担の大きさを指摘する声も聞かれま
す。何が何でも今まで通りのバザーを続けて行かなければならないということ
はないと思います。子どもへの教育目的、親相互の親睦、地域交流などの目的の
ためによりよい方法を皆さんと共に模索していきたいと思います。主に感謝！



♪お菓子班



バザーのお菓子合同制作・個人献品・キャンディレイ
にご協力いただきましてありがとうございました。

皆さんのおかげでとても沢山のお菓子をバザーに出
すことが出来ました。バザーの前日作っていただ
いたお菓子がぞくぞくと私たちお菓子係の手元に集まってきました。とっても
美味しそうでこの場で食べてしまいた～い！！と思いながらいろいろな方
のご協力も頂き値段付け・品質表示付けが完了しました。合同制作のお菓
子作りの楽しさはお話しながら一緒に楽しい時間を共有することだと思いま
す。お菓子が得意な方や全然自信がないから・・・と言われる方いろい
ろな方と和気あいあいと出来た事を本当にうれしく思っています。バザー当日
も沢山の可愛らしいお菓子たちを前に楽しそうに「これもあれも食べた～
い」と悩んで買っていく小学生や「毎年楽しみなの♪」と買って
くださるご近所の方、幸せを分けていただいた気がしました。
合同制作・個人献品・キャンディレイ・教会のケーキとても沢山の方のご協
力の成果だと思います。ありがとうございました。

イラスト提供：ふわふわ、り。

been's house